科目ナンバリング	U-LAS05 20010 LJ39						
授業科目名 <英訳>	人文地理学各論Ⅰ（都市） Topics in Human Geography I(Urban Settlement)			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　久木元　美琴		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	木1	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

現在、世界の人口の過半数が都市に居住するといわれる。都市とはどのようなものか、都市はどのように発展してきたのか、都市を考察するうえでどのような切り口があるのかを考える。主に近代以降の国内外の都市について、発展メカニズムや空間構造の多様性、都市の諸課題とその背景を理解し、都市が今後どのようにあるべきかを自ら考えることができるようになることを目的とする。

[到達目標]

都市地理学の基本的な視点や方法を学ぶ。主に近代以降の国内外の都市について、発展メカニズムや空間構造の多様性、都市の諸課題とその背景を理解し、都市が今後どのようにあるべきかを自ら考えることができるようになる。

[授業計画と内容]

授業の進行状況に応じて、順番やテーマを変更することもある。

第１回　本授業の視点　概要説明
第２回　都市圏の形成：都市の定義、都市圏とは
第３回　産業革命と近代都市
第４回　日本における近代都市
第５回　近代都市の都市問題
第６回　都市の空間構造：都市内部構造に関するモデル
第７回フォーディズムと都市空間をめぐる議論
第８回　戦後日本の都市居住問題
第９回　都市の空間構造：ライフコースと都市構造
第10回　都市の生活空間：時間地理
第11回　グローバル化と都市：世界都市論
第12回ジェントリフィケーション論
第13回郊外の空洞化と活性化
第14回　総括
第15回フィードバック（フィードバック期間中に行う）

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（小テスト、ミニッツレポート）40%、期末試験60%。
期末試験は講義内容への理解とそれを表現する力を測るものとする。

人文地理学各論Ⅰ（都市）(2)へ続く↓↓↓

人文地理学各論Ⅰ（都市）(2)

[教科書]

藤井正・神谷浩夫編著 『よくわかる都市地理学』（ミネルヴァ書房、2014年）ISBN:9784623067237

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の授業を復習し，授業中紹介した文献等を必要に応じ参照すること。

[その他（オフィスアワー等）]

履修希望者が収容上限を超えた場合には、履修制限を行う。とくに履修を希望する学生には事前課題による「教員推薦」を行う予定。

[主要授業科目（学部・学科名）]